

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

国際・地域連携センター ニュースレター 〈第6号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者: 吉用

はじめに

11月12日(土)に第2回ホームカミングデーが開催されます。今回のテーマは「4つのCで地域を考え、地域を歩む」です。

今回は記念式典と学部別イベントの他、共通イベントとして「連携自治体は高知大学に何を求めるのか？」をテーマにシンポジウムが開催され、連携協定を結んでいる4自治体の首長様と共に、これまでの本学との連携事業を振り返ると同時に、これからの事業展開に対する考えをお聞きます。

パネリストとして、

土佐市長 板原啓文 氏

室戸市長 小松幹侍 氏

四万十市長 田中 全 氏

大豊町長 岩崎憲郎 氏 をお迎えし、

当センターの受田浩之センター長がコーディネーターとして進行を任されています。

高知大学、高知医科大学の卒業生や関係者の方、また、高知大学に関心をお持ちの方であればどなたでも参加可能ですので、お誘い合わせのうえ、たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。

第2回ホームカミングデー HP

<http://welcomekochi-u.jp/index.html>

目次

p1 はじめに

p2 地域連携・再生部門

Topic1. 高知市を学ぼう！

Topic2. 食材の宝庫 高知県幡多地域にて

p3 産学官連携部門

Topic1. 四国銀行との連携を次のステージへ

Topic2. 「食と健康」医農工連携

p4 知的財産部門

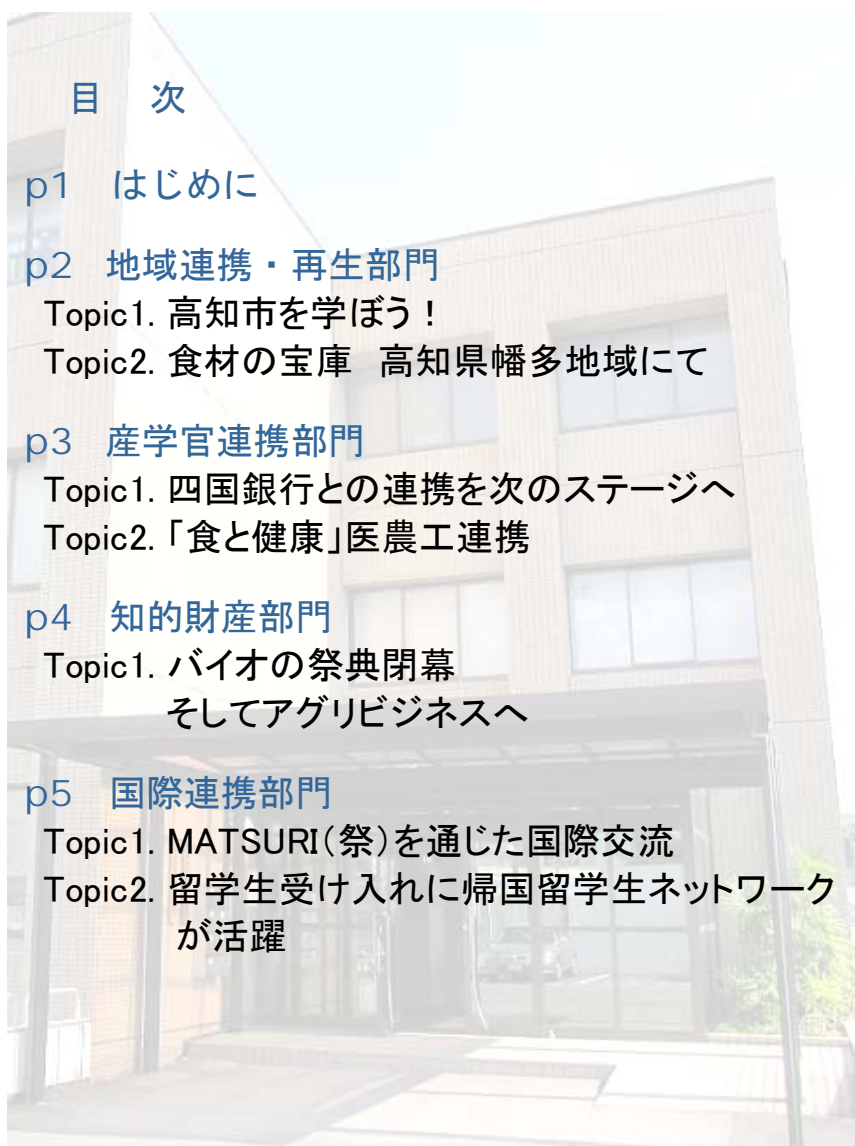
Topic1. バイオの祭典閉幕

そしてアグリビジネスへ

p5 国際連携部門

Topic1. MATSURI(祭)を通じた国際交流

Topic2. 留学生受け入れに帰国留学生ネットワークが活躍



Topic 1. 高知市を学ぼう！

～秋の公開講座「高知大学・高知市共催公開講座」～

高知市との共催による秋の公開講座が開講しました。本講座は、本学が高知市から受託した高知市総合調査の調査結果を基にしています。高知市総合調査とは、高知市の新しい地域社会の創造に貢献することを目的に、本学教員らが高知市の自然と社会について、調査し取り纏めたものです。その結果は高知市総合計画に反映されています。それだけでなく、高知市からの依頼もあり、市職員の業務の参考にすると同時に、一般市民にも調査結果を広く知ってもらいたいとの思いから、市職員を含めた公開講座にすることをしました。下記スケジュールで実施しております。関係する皆様に深謝いたします。

開催日 会場	講座名	受講者	内高知市 職員
10月19日(水) たかじょう庁舎	【社会編】第1回:防災活動の現状と課題 ～東日本大震災を教訓に～	41名	16名
10月26日(水) 総合あんしん センター	【自然編】第1回:土佐湾の海底地形・地質とコアから 読み取る環境変動	33名	4名
	【社会編】第2回:新しい公共とNPO	23名	8名
11月2日(水) 総合あんしん センター	【自然編】第2回:高知県の河川から土佐沖への物質流入と メタンハイドレートの形成	42名	4名
	【社会編】第3回:高知市の財政状況と課題	21名	3名
11月16日(水) たかじょう庁舎	【自然編】第3回:高知県の淡水・汽水域の魚類 ～日本の淡水魚の最近の話題～		
	【社会編】第4回:高知市経済の特徴と課題		
11月30日(水) 総合あんしん センター	【自然編】第4回:四国南部沿岸域の植生史		
	【社会編】第5回:パネルディスカッション 「これからの高知を考える 地域防災の視点から」		
12月21日(水) かるぽーと	【自然編】第5回:南海地震に備える ～東日本大震災の実情と反省点～		

Topic 2. 食材の宝庫 高知県幡多地域にて

～土佐FBC人材創出 幡多教室開講～

食品産業中核人材を養成する「土佐FBC人材創出」は開始から3年半が経過し、県内にその名が広く知られるようになってきました。しかし、その一方で、農学部までの距離が遠い宿毛市や四万十市からは、受講したいが通学が困難である、との声を聞くことも増えてきました。そこで、これら地域からの要望に応えるため、土佐FBC幡多教室をはじめて開講しました。

10月8日(土)に開講式を開き、講座がスタートしました。32名もの受講生にご参加いただき、本地域の食品産業関係者の熱意が感じられました。これから12月4日まで全42時間、四万十市中央公民館にて開催されます。

土佐FBCの文科省からの支援終了後の継続については、一つ一つ検討を重ねている段階ですが、地元からの声も大切にしたいと考えています。



受田センター長による初回講義



ソフトブレーションサービス(株)小松会長による講義

Topic 1. 四国銀行との連携を次のステージへ ～四国銀行・高知大学連携協議会を開催～

四国銀行と高知大学は平成17年に連携協定を締結しています。四国銀行の情報収集力と高知大学の知的資産を強く結びつけ、新技術・新規事業分野の支援・発掘、地域の人材育成等に協力して取り組み、地域経済の活性化、社会の発展に貢献することを目指したものです。平成23年10月13日、四国銀行と当センターで今後の連携発展に向けた協議会を開き、活発な議論を交わしました。

【協議内容】

- ・高知県産学官連携会議の展開について
- ・ニーズとシーズの今後の連携事業について
- ・地域連携の取り組み状況について
- ・科学技術相談について
- ・その他



Topic 2. 「食と健康」医農工連携

～人材育成事業(連続講座) in SHIKOKU 開催情報～

日時：平成23年12月2日(金) 13時～17時
場所：高知県工業技術センター(2階 研修室)

「薬事法入門、医療機器とものづくり技術、先端技術、医療現場からの発信、食品衛生、植物工場、農水産物機能性成分など」について、人材育成を目的とした連続講座が行われます。ご興味のある方は是非ご参加ください。

【開催趣旨】

「新成長戦略(基本方針)」(閣議決定)では、医療・介護・健康関連産業が成長牽引産業と位置づけられています。製品開発し上市(製造販売)する場合、医療機器、化粧品、医薬部外品などでは薬事法に基づく対処(許可、表示届出など)が求められるケースが出てきます。計測技術、微細加工技術、金属材料、化学など多様な技術開発や組み合わせも必要となります。また、ものづくり企業が日頃触れる機会の少ない医療現場からの情報発信も極めて重要です。

本事業では、経産省、大学、各県、企業など多くの方のご協力をいただき、必要な法規制や技術、医療現場の現状と課題などの知識を得ることを目的に開催します。

「食と健康」医農工連携
人材育成事業(連続講座) in SHIKOKU

ご案内 第4回「2011年12月2日」講座

日時：2011年12月2日(金)13時～17時
場所：高知県工業技術センター(2階 研修室)

プログラム

- 13:00-13:30 健康分野の法規制(Ⅰ)薬事法の概要(入門編)(仮題)
高知県健康政策部医事業務課 主幹 平松 佐穂 氏
- 13:30-14:10 健康分野の法規制(Ⅱ)食品衛生行政(仮題)
高知県健康政策部食品・衛生課
食品保健担当チーフ 松岡 哲也 氏
- 14:10-14:30 特産農水産物・加工食品中の機能性成分の分析法マニュアル集
産総研四国産学官連携センター
イノベーションコーディネータ 細川 純 氏
- 14:30-15:15 植物工場の知能化による安全な食料の安定供給
愛媛大学知的植物工場基盤技術研究センター
副センター長 有馬 誠一氏
- (小憩)
- 15:30-16:15 食品の生体調節機能とクホー発足から20年を振り返ってー
高知県立大学健康栄養学部健康栄養学科
教授 渡邊 浩幸 氏
- 16:15-17:00 微生物による食のリスクの制御と評価
高知大学教育研究部 総合科学系 生命環境医学部門
教授 永田 信治 氏



[プログラム、申込書\(PDF\)](#)

Topic 1. バイオの祭典閉幕 そしてアグリビジネスへ ～Bio Japan 2011 終了 12月はアグリビジネス創出フェア～

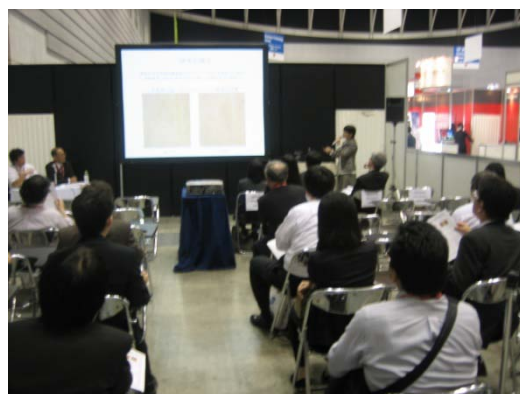
10月5日(水)～7日(金)、パシフィコ横浜において、日本におけるバイオ産業最大のオープンイノベーション実現の場として「Bio Japan 2011」が、大学、企業など多数の参加を得て、盛大に開催されました。約1万2千人の来場者があり、各大学等の研究者によるプレゼンテーションやポスター展示、各企業等の新商品発表やマッチング活動等が活発に行われました。

本学からの出展

- ・医学部 皮膚科学講座 助教 横川真紀先生 (プレゼン、ポスター展示)
「Stat3 阻害剤経皮投与による紫外線誘発性皮膚癌の進展抑制効果」
- ・海洋コア 教授 津田正史先生 (ポスター展示)
「動的核偏極法(DNP)ー核磁気共鳴分光法(NMR)における緩和時間、シグナル観測時間の延長」



横川先生と津田先生のご研究の展示ブース



横川先生のプレゼンによる研究内容説明

バイオの祭典に引き続き、11月30日(水)～12月2日(金)にアグリビジネス創出フェア2011が幕張メッセにて開催されます。こちらも本学から毎年出展しており、今年は以下の教員の皆様にご協力いただきますこと、感謝申し上げます。

本学からの出展

- ・農学部 教授 永田信治先生
「植物資源の特性を利用した乳酸発酵と微生物が生産する機能性物質を利用した食品開発や餌料開発」
- ・農学部 教授 藤原拓先生、准教授 深田陽久先生、准教授 手林慎一先生
「廃棄バイオマスの高付加価値食品利用技術の開発」

アグリビジネス創出フェア ホームページ: <http://agribiz-fair.jp/>

Topic 1. MATSURI（祭）を通じた国際交流 ～留学生が大豊町庵谷の神祭の助っ人に～

平成23年10月16日（日）、高知県内3大学で学ぶ韓国、中国等7カ国18名の留学生（本学留学生：12名）が高知県大豊町庵谷（星神社）の秋の大祭に参加しました。本事業は高知地域留学生交流推進会議の事業として行われたもので、留学生が神輿や太鼓を担いで約1キロの山道を往復する「おなばれ」を体験するとともに、地域住民と一緒に昼食をするなど交流を楽しみました。

庵谷集落では過疎・高齢化が進み人出不足に悩んでいます。今回国際色豊かな一行が秋の山里をにぎわし、住民にも元気が溢れていました。留学生にとっても日本文化を体験する良い機会になりました。



星神社 秋の大祭神事



御旅所へ向かう神輿

Topic 2. 留学生受け入れに帰国留学生ネットワークが活躍 ～上海の日本留学フェアにて留学生の募集活動～

平成23年10月22日（土）、23日（日）の両日、上海東亜展覽館において開催された日本留学フェアに岩崎国際連携部門長外2名が参加し、高知大学のブースを訪問した留学を希望する学生、保護者及び現地日本語学校の教職員等に情報提供を行い、進学先の候補にと積極的な広報を行いました。

本学のブースには、高知大学帰国留学生ネットワーク（中国上海地域）同窓会会長の鐘俊生上海海洋大学教授、同窓会副会長の何明上海交通大学教授及び毕雅萌上海外国语大学大学院生が応援に駆け付け、母校高知大学の紹介に務めていただきました。

ブース訪問者数：56名（2日間）、資料配布者：40名



留学希望者との個別相談



高知大学帰国留学生ネットワーク(中国上海地域)同窓会メンバーとブース対応しました